

- ✓ 食品ロス削減全国大会 in 富山
- ✓ みんなで減らそう レジ袋チャレンジ
- ✓ 事業活動報告、SEFからのお知らせ



トピックス

食品ロス削減全国大会 in 富山が開催されます！

食品ロス削減推進法の施行によって、毎年10月は「食品ロス削減月間」、10月30日は「食品ロス削減の日」に定められました。そして、食品ロス削減に向けた全国的な機運の醸成を図るため、「食品ロス削減全国大会」が毎年開催されています。第4回目となる今年も新型コロナウイルス感染症の影響を勘案し、12月16日(水)に富山県にて開催されます。

テーマは、「使い切り 食べきり すっきり エコライフ」。そして、トークセッションのコーディネーターには、東京農業大学名誉教授でSEF顧問の牛久保明邦先生が登壇予定です。新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点からオンラインでのライブ配信も予定されています。詳細は農林水産省のホームページをご覧ください。

◆農林水産省 「第4回食品ロス削減全国大会 in 富山」
<https://www.maff.go.jp/j/press/shokusan/kankyoi/201006.html>



トピックス

みんなで減らそう レジ袋チャレンジ

今年の7月1日からレジ袋有料化がスタートしました。プラスチックは非常に便利な素材で、形成しやすく、軽くて丈夫で密閉性も高いため、あらゆる分野で私たちの生活に貢献しています。一方で、廃棄物・資源制約、海洋プラスチックごみ問題などの課題もあります。私たちは、プラスチックの過剰な使用を抑制し、賢く利用していく必要があります。

そこで環境省・経済産業省が中心となって、レジ袋有料化をきっかけにプラスチックごみ問題について考えてもらい、日々の買い物でマイバックを持参し、「レジ袋いりません」と辞退することが当たり前になる、そういった一人ひとりのライフスタイルの変革を目指す「みんなで減らそうレジ袋チャレンジ」を今年6月からスタートしています。レジ袋チャレンジの目標は、レジ袋をもらわない人の割合を

6割にすることです(20年3月に行ったアンケート調査では店頭でレジ袋を1週間1枚もらわなかった人の割合は約3割。これを12月時点で倍の6割を目指す)。

関連サイトでは、全国にレジ袋チャレンジサポーター(59,012店舗・拠点 ※10月16日時点)の活動紹介と一緒に消費者に呼びかけて頂けるサポーター(事業者・団体)を募集しています。12月9日には、優秀サポーターの表彰式を開催することが決定しましたので、事業者の皆様は、自社の取り組みを発信する機会としてぜひご活用ください。

◆環境省 みんなで減らそう レジ袋チャレンジ
<http://plastics-smart.env.go.jp/rejibukuro-challenge/>

ゼロエミッションの実現に向けて、食品小売業・外食産業の店舗から発生する廃棄物(特に食品循環資源)の発生抑制・資源循環・適正処理の手法を学ぶ場として2020年度ゼロエミッション研究会の2回目の勉強会を10月22日に開催いたしました。会場参加16社21名、Web参加4社4名と多くのご参加を頂きました。

第2回目では、弁護士の佐藤泉氏に「新型コロナウイルスその影響と今後の廃棄物政策」というテーマで講演いただきました。新型コロナウイルスの流行が社会・食品業界・廃棄物業界にどのような変化をもたらすかについて、また2019年5月に発表されたプラスチック資源循環戦略の基本的方向性が定まりつつある中で、今後私たちにどのような影響が想定されるかなど、最新の情報を交えながら分かりやすく解説頂き、新たな時代に向けて廃棄物管理に対する企業のあり方を検討する上でのヒントを提供いただきました。

その後、SEFの顧問を務める牛久保明邦氏(東京農業大学名誉教授)、理事の志岐秀明氏(㈱ガイアドリーム代表取締役)、理事の百瀬則子氏(ワタミ㈱執行役員SDGs推進本部長)の3名と佐藤泉氏を交えた質疑応答とディスカッションを行いました。専門家4名の関心を持っている事柄から事業系一般廃棄物、食品ロス、容器包装・フードバンク・賞味期限設

定の課題なども含めて様々な討論が展開されました。

最後に、20年度ゼロエミッション研究会の軸となる群馬東部エリアの食品リサイクルループ構築に向けての情報共有と次回に向けた確認を行いました。来月のゼロエミッション研究会では、11月12日に群馬東部エリアでご協力いただく飼料化施設の視察を中心とした見学会を予定しております。



会場の様子



会場の様子

これからのご参加も大歓迎です。下記概要をご確認のうえ、SEF ホームページからお申込みください。

<https://save-earth.or.jp/archives/6254>

2020年度ゼロエミッション研究会 概要

【日程】

<勉強会> 5回開催

→ 第1回: 2020年09月17日(木) 15:00 ~ 18:00 終了しました

→ 第2回: 2020年10月22日(木) 15:00 ~ 18:00 終了しました

・ 第3回: 2021年01月21日(木) 15:00 ~ 18:00

・ 第4回: 2021年02月18日(木) 15:00 ~ 18:00

・ 第5回: 2021年03月25日(木) 15:00 ~ 18:00

<見学会> 群馬県にて実施

・ 2020年11月12日(木) 13:00 ~ 18:00

【勉強会 会場】

第3回勉強会以降: 都内にて実施

(決まり次第ご案内します)

【講師】

・ 百瀬則子氏
(SEF 業務執行理事、ワタミ株式会社SDGs推進本部長)

・ 志岐秀明氏
(SEF 理事、株式会社ガイアドリーム代表取締役)

・ 牛久保明邦氏
(SEF 顧問、東京農業大学名誉教授)

ほか、資源循環・廃棄物関連専門家多数登壇予定

【参加費】

70,000円

※ 賛助会員(民間団体)は無料

※ 別途: 見学会交通費、遠方への個別相談時交通費

森林再生事業 活動報告

秋の森・いのちの循環 ～東御の森～

秋の森を歩くときの楽しみは、いろいろな色や形の木の実との出会いです。そしてまたこの木の実は、野鳥のごちそう。木の実は食べられることで、種子(たね)を運んでもらいます。野鳥の口には大きすぎるオニグルミは、ホンドリスの大好物。固い殻を回しながら歯でふたつに綺麗に割り、それを重ねて持ち、中の実を食べます。樹木の周囲にオニグルミの実が固まってたくさん落ちていることもあります。冬の食糧として備蓄しているのです。土を掘って埋めるので、食べ忘れた実から発芽することもあります。こんな具合に、植物と他の生き物がかわりあって、森の中でいのちが繋がっていきます。木の実の写真は、やまぼうし自然学校から届きました。9月

上旬の様子です。野鳥やホンドリスは生物調査の時に撮影したものです。

★「東御の森」の様子は、公式FBで紹介しています。
公式FB : <https://www.facebook.com/saveearthfoundation/>



オニドコロ



ミズキ



オニグルミ



ホンドリス



コガラ

森林再生事業 活動報告

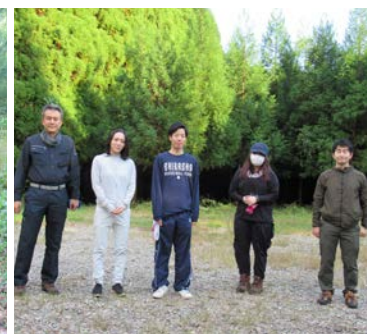
10月の定例活動を実施しました ～日向の森(千葉県山武市)～

今月は2回の活動を予定していましたが、10日の活動日は台風接近のため中止とし、24日の1回のみとなりました。24日は4名の方が初参加で、8月に参加した2回目の方とスタッフ1名の計6名で活動を実施しました。

準備運動を兼ねて森を散策しながら活動について紹介したあと、2013年5月に植樹したスギ600本エリアの「枝打ち」と「つる切り」を行いました。このエリアは植樹から7

年がたち、大きいものでは樹高6m程度まで順調に成長し、下草刈りは終了していますが、林縁部に草が茂りつるが絡みやすい状況だったため、刈払機の安全講習と実演を兼ねて林縁部の草刈りも行いました。

参加者からは、ボランティアに参加した達成感だけでなく、森づくりに関する現状や課題について色々な話が聴けて良かったという声をいただきました。



※この企画は(公社)国土緑化推進機構「緑の募金」の支援を受けて実施しました。

11月・12月 森林保全活動 のお知らせ ボランティア 募集中！



SEFでは、各地域での森林保全活動をお手伝い頂けるボランティアさんを募集しています。

千葉県山武市では原則として毎月第2・第4土曜日に定例活動を行っているほか、他地域でも年数回の活動を実施しています。

なお、活動実施にあたっては感染症の拡大防止に最大限の配慮を講じてまいります。

下記リンクから確認事項等ご参照のうえ、ご参加をお願いいたします。

<https://save-earth.or.jp/archives/6783>

<11月・12月の活動予定>

- **千葉県山武市** ★昨年秋の台風15・19号による被害を受けた人工林の復旧作業、植樹エリアの下草狩りを予定。

11月14日(土)、28日(土)、12月12日(土)

- **愛知県瀬戸市** ★森林整備活動(道づくり)とクリスマスツリーづくりを予定。

11月21日(土)

活動の詳細、お申込みはコチラ ▶ <https://save-earth.or.jp/event>

賛助会員・サポーター入会のご案内

SEFの活動は、皆さまからのご支援に支えられています。

「美しい地球を未来の子どもたちに残したい」。この思いにご賛同いただける皆様のご入会をお待ちしております。

企業・団体

会員特典

- ・食品リサイクルループ構築支援
- ・「企業の森づくり活動」支援
- ・廃棄物法令、食品リサイクル、廃棄物管理等の専門家による助言・指導
- ・「ゼロエミッション研究会」など、各種セミナー等へのご招待・ご優待

会員区分 年会費

特別賛助会員	1 □	500,000円
賛助会員	1 □	50,000円
資源循環サポーター	1 □	50,000円(資源循環事業に用途を限定)
森林再生サポーター	1 □	50,000円(森林再生事業に用途を限定)

個人

会員特典

- ・「ゼロエミッション研究会」など、各種セミナー等へのご招待・ご優待
- ・森林ボランティア活動参加者に千葉県産サンプスギ製「サポーター登録証」を発行

会員区分 年会費

賛助会員	1 □	10,000円
資源循環サポーター	1 □	1,200円(資源循環事業に用途を限定)
森林再生サポーター	1 □	1,200円(森林再生事業に用途を限定)

ご入会のお申込みはこちらから → <https://save-earth.or.jp/member/apply>

